

はやま住民福祉センターだより

今月のテーマ

葉山町社会福祉協議会が大切にしていきたいこと その3

社会福祉協議会(略して社協「しゃきょう」と言います)は、営利を目的としない民間組織で、すべての都道府県と各市区町村にあります。なぜ、役場や保健センター、保健福祉事務所など福祉の窓口があるのに、民間の社協が必要なのかというと、役場などの公的機関は法律を中心に困っている人やみんなの暮らしを支えてくれますが、地域の活動やボランティアなど、法律に縛られない自由な活動をまとめたり、身体の不自由な方からお元気な方まで、誰もが地域でいつまでもその人らしく暮らせる「福祉のまちづくり」を目指すために、みんなの声を取りまとめる係が必要だからです。

葉山町社会福祉協議会が、これからの町の地域福祉推進に向け、特に大切にしていきたいことは次の3点です。

その1 「集いの場」のさらなる活性化と参加支援

その2 だれでも相談につながる体制づくり

その3 withコロナでも歩みを止めない地域福祉活動の実践

withコロナでも歩みを止めない地域福祉活動の実践とは・・・

新型コロナウイルス感染症の流行により、人と人とのつながりや関わりづくりなどを重視して住民主体で実施されてきた助け合い・支え合いの活動、小地域福祉活動、ボランティア・市民活動などが自粛や中止にならざるを得ない状況となり、地域福祉活動を進めづらい状況にあります。

一方で、「集いの場」などの参加者などからは、外出や人と交流する機会が著しく減り、特に高齢者は、認知機能や体力の低下、生きがいや楽しみなどの生活意欲の低下が起こっている様子が伺えます。また、収入の減少や離職など経済的な問題に直面する世帯の急増、新たな生活様式におけるストレスなど、これまでとは異なる生活問題や地域課題が生まれています。

新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立たない現状ではありますが、そういう状況下だからこそ、人と人、人と社会のつながりと関係を維持させるとともに、新たな生活問題や地域課題に応じて、柔軟で創意工夫をした地域福祉活動を展開していくことが求められています。

withコロナでも歩みを止めない地域福祉活動事業の紹介

生きがいミニデイサービス

高齢者の介護・孤立の予防、生きがいづくりを目的とする、生きがいミニデイサービス事業を実施する団体へ業務を委託するとともに立ち上げの支援や運営の支援を行います。

ふれあいいいききサロン

生活の孤立を防ぐことを目的に、町内会館や個人宅等を利用し、地域住民が実施する出合いや仲間作りの場作りの活動を行う、ふれあいいいききサロンの相談助言と助成を行います。

孤立を防ぐみまもり事業

見守りや声掛けが必要な人に、地域の方が訪問するきっかけづくりとして、地域の情報などと一緒に定期的に配布物を届ける仕組みをつくり、生活の孤立を防ぎ、日常の見守りや助け合いを促進します。

小地域福祉活動推進組織設置・運営支援事業

小地域福祉活動推進組織の設置と運営の支援及び推進組織の会議等へコミュニティソーシャルワーカーを派遣して事業の企画・立案・実施等に関する支援や研修会の企画・立案を支援します。

小地域福祉活動推進組織助成事業

小地域福祉活動推進組織の設立準備及び継続活動に係る事務費並びに事業費を助成します。

不登校・ひきこもりの家族会 葉山 ゆずり葉の会

それぞれの経験や想いを語り合い、不登校・ひきこもりの“今”と“その先”を一緒に考えませんか？

毎月開催:3/16(木)・4/13(木)

10:00~12:00不登校 13:30~15:30ひきこもり

会場:3/16ちつくりかん(逗子駅行き風早橋バス停前)

4/13葉山町福祉文化会館 2階和室

<https://yuzuriha.jimdosite.com/>

他の事業や相談など、お気軽にご連絡ください。